

ザンビア経済月報（2026 年 6 月）

在ザンビア大使館

【マクロ経済】

・14 億ドルのユーロ債買い戻し

政府は債務負担を軽減し、電力インフラを強化するため、2053 年満期の 14 億ドルのユーロ債を買い戻すための公開買い付けを開始した。この買い戻しは、アフリカ開発銀行からの 6 億ドルの融資によって支援され、国内調達資金によって補完される。

（6 月 1 日、ZDM）

・非伝統的輸出、90 億 ZMW を達成

今年 4 月の非伝統的輸出（NTEs）は、同年 3 月に記録された 75 億 ZMW から 20.9%増加し、90 億 ZMW に達した。レビュー期間中、NTEs はザンビアの総貿易の 35.6%を占めた。農産物からの輸出収益は、2026 年 3 月の 18 億 ZMW から 2026 年 4 月に 17.3%増の 21 億 ZMW に増加した。（6 月 1 日、ToZ）

・モバイルマネー取引、2025 年に 8,910 億 ZMW 達成

ザンビア中央銀行（BoZ）は、モバイルマネー取引が 2025 年末までに過去最高の 8,910 億 ZMW に達したことを明らかにした。BoZ は、2025 年 12 月時点でザンビアに約 1,700 万のアクティブなモバイルマネー口座と 63 万 5,000 以上のアクティブなエージェントが記録されていることを開示。（6 月 2 日、ZDM）

・債権保有者、ザンビアを交渉に追い込む

ザンビア政府の 13 億 6 千万ドルの 2053 年ユーロ債を買い戻す努力は、債券保有者グループが 25%以上の阻止株を取得し、政府をオファーの条件に関する交渉に追い込んだことで大きな障害に直面した。この進展は、同国の債務再編プログラムに続き、将来の債務返済コストを削減し、債務の持続可能性を強化する努力の一環として、政府が先週開始した公開買い付けに続くもの。（6 月 5 日、DN）

・ムーア・グローバル社、新たな連携でザンビアに進出

大手会計コンサルのムーア・グローバル社は、ザンビアの専門サービス企業のクライアント・フォーカス・ソリューションズ社の加盟により、アフリカでの事業を拡大した。同社は今後、ムーア・ザンビア CFS として運営。（6 月 5 日、DN & ZDM）

・GDP、3,300 億 ZMW 増加

ザンビアの国内総生産（GDP）の定価推計は、過去 4 年間で 2020 年の 3,322 億 2,300 万 ZMW から、2024 年には 6,620 億 9,400 万 ZMW に達し、約 3298 億 ZMW 増加した。ザンビア統計局の統計速報によると、2021 年の最終年間 GDP は、2020 年の 2.8%の縮小と比較して、現行価格で 4.6%増加した。（6 月 5 日、ToZ）

・BoZ、サイバーセキュリティと事業継続に関する地域協議主催

ザンビア中央銀行（BoZ）は、南部アフリカの中央銀行がサイバー脅威、技術的混乱及び気候関連リスクの増大に直面する中、より強力な事業継続と運用回復力の措置を呼びかけた。（6月8日、DN）

・国家認定機関の設立に着手

政府は、国内で生産される製品の品質向上及び地域・国際市場での競争力向上のための一環として、議会法を通じて国家認定機関の設立に着手した。（6月12日、DN）

・債権買い戻し、金融の妙技

ザンビアは、13億6千万ドルの債務買い戻しについて債券保有者の承認を得て、世界初の「債務とエネルギーのスワップ」と称されるブレイクスルーを達成した。同イニシアチブは、債券保有者の97.85%のほぼ満場一致の承認を得ており、同国の債務負担を大幅に軽減し、節約された資金を重要なエネルギーインフラに投入することが期待される。（6月14日、ZDM）

・ザンビア債券市場、2026年に新興市場でトップに

アクセス銀行のザンビア市場ウォッチレポートによると、ザンビアの現地通貨債券市場は、強力なマクロ経済ファンダメンタルズと投資家心理の改善に牽引され、2026年に新興市場で最高のパフォーマンスを記録。（6月15日、ZDM & DN）

・BOZ、クワチャ、国内取引で義務化
BoZの最新報告によると、昨年発効した通貨指令により、全ての国内取引

を現地通貨で決済することを義務付けており、クワチャを同国の主要な交換媒体として強化している。（6月17日、ZDM & DN）

・債務削減、ザンビアの送電網アップグレードを後押し

政府は、同国の最近のソブリン債務管理努力による節約を電力インフラの強化に投入する15年間の送電網回復力プログラムを発表。財務・国家計画省は、同プログラムは、同国の未償還の13億6,500万ドルの2053年債券Bノートの買い戻し成功によって生み出された節約を通じて資金調達され、債務返済から生産的投資への大きな転換を示すと述べた。（6月18日、DN、ZDM & ToZ）

・クワチャ、アフリカのトップ通貨に君臨

ザンビアのクワチャは、銅価格の高騰、堅調な外貨準備高、進行中の経済改革の中での投資家心理の改善に支えられ、2026年にアフリカで最高のパフォーマンスを誇る通貨としての地位を強化した。（6月24日、DN）

・成長率及びインフレ改善

ザンビア統計局は、同国経済が2026年第1四半期に7.7%成長し、昨年同期比の4.5%から大幅に成長したと発表。2026年6月の年間インフレ率は2026年5月の6.6%から6.5%に改善。（6月26日、DN&ToZ）

・70億ZMWの貿易黒字を記録

ザンビア統計局によると、ザンビアは2026年5月に70億ZMWの貿易黒字を達成。同年4月の35億ZMWの黒字

から増加。主に国内生産品から成る輸出が4月の254億ZMWから5月に18.7%増の301億ZMWに増加した。(6月27日、ZDM)

・債権入札不振でクワチャは安定

政府債券入札は、63億ZMWの募集に対して、約50億ZMWの入札に終わり、政府証券への需要の弱さを反映し不振に終わった。(6月30日、ZDM & DN)

【エネルギー】

・ディーゼル、灯油価格下落

エネルギー規制委員会は、ディーゼル価格を33.99ZMW/リットルから1.88ZMW引き下げ32.11ZMWへ、灯油価格を35.05ZMWから1.14ZMW引き下げ33.91ZMWへ、ジェットA1価格は37.98ZMWから1.30ZMW引き下げ36.68ZMWとした。(6月1日、ZDM)

・ZESCO 電力供給安定を保証

ザンビア電力公社(ZESCO)は、顧客と一般市民に対し、当国の電力供給状況は安定しており、今年以降、全国的な停電の発生は予想されない旨保証した。(6月10日、TOZ)

・EEFA : 2030年までの1万MW電力目標は達成可能

アフリカ・エネルギー・フォーラム(EEFA)は、ザンビアがエネルギー部門の現在の改革と投資を維持した場合、2030年までに1万MWの電力発電目標を達成できるとの見方を示した。政府の発電部門への民間投資の誘致策により、ザンビアを好ましいエネルギー投資先とする見方に改善している。(6月22日、ZDM)

・1,000MWの太陽光エネルギー、国家送電網に追加

ZESCOは、今年既に約750MWの太陽光エネルギーが国家送電網に供給されており、更に今年末までに1,000MWを超える太陽光エネルギーが国家送電網に追加される旨述べた。(6月25日、ZDM)

・2億4千万ドルの太陽光発電契約で200人雇用創出

ザンビア開発庁は、ルアンシャに200MWの太陽光発電所を開発するため2億4千万ドル投資を行う投資促進保護協定をザンビアのメトロゴールド社と締結。同事業で約200人の雇用創出が予想される。(6月26日、DN)

【保健】

・政府、15億ドルの米国助成金は未署名

ザンビア情報メディア省次官は、米国政府との間で提案された15億ドルの5年間の助成金はまだ交渉中であり、未署名である事を明らかにした。(6月3日、ZDM&ToZ)

・WHO、エボラ予防・管理物資寄付

世界保健機構(WHO)は、ザンビアのエボラ対策の強化のため、政府に40万ZMWの予防・管理物資を寄付した。(6月6日、ZDM&ToZ)

・ZNPHI、エボラ警戒態勢を強化

ザンビア国立公衆衛生研究所(ZNPHI)は、隣国コンゴ(民)でのエボラ発生を受け、ザンビア国内でのエボラ対策強化策を発表した。ZNPHI関係者は、国内ではまだ感染例は確認されてい

ないが、引き続き厳戒態勢を維持し、疑わしい症例の迅速な発見及び封じ込めを実施するため、監視システムを強化する旨述べた。(6月16日、ToZ)

・保健省、2027年度予算計画を開始

保健省は、2027年から2029年の3か年中期予算計画と2027年度国家予算の策定プロセスを開始し、強靱で公平、かつ国民中心の医療システム構築へのコミットメントを再確認した。保健省行政担当事務次官は、同プロセスにより、関係者が各セクターの成果を見直し、ギャップを特定し、今後3年での優先課題に合意する旨述べた。(6月17日、ToZ)

・UTH、2026年に腎臓移植6件を完了

ザンビアは医療観光ハブとしての地位をサブ地域で高めている。ルサカの大学教育病院(UTH)成人病院は、2026年までに少なくとも6件の腎臓移植を実施した。(6月23日、ToZ)

・ZAMMSA、必須医薬品の95%在庫維持を誓約

ザンビア医薬品・医療用品庁(ZAMMSA)は、必須医薬品の供給を95%以上に維持することを約束した。また政府は、国内の医薬品サプライチェーンを強化するにあたり、より多くの薬剤師と薬学技術者を雇用する予定。(6月27日、ZDM)

【農業】

・350万ドルのイニシアチブ、農業貿易を促進

政府は、銅への経済的依存を農業及

び畜産部門へ移行させることを目的とした、350万ドル相当の5年間のイニシアチブを開始した。同プロジェクトは、「ザンビア貿易競争力及び輸出多様化プログラム」と名付けられ、強化統合フレームワーク(EIF)フェーズIIIの下で、2026年から2031年まで実施される。(6月3日、ZDM&ToZ)

・農業成長には質の高い種子が鍵

SeedCo ザンビアの幹部は、質の高い一定の品質基準を満たす認証種子の使用は、収穫量・農業生産性を大幅に向上させ、国の野心的な食料生産目標の達成に不可欠である旨述べた。(6月4日、DN&ZDM)

・政府、タバコ加工を支援

政府は、国内で最も急速に成長している農業産業の一つであるタバコ産業の付加価値を高め、雇用を創出し、輸出収入を増やす努力の一環として、タバコ加工・製造への投資を支援している。農業省事務次官は、政府は、官民連携によるワンストップ・タバコ産業パークを含む、タバコ・バリューチェーンにおける下流活動の強化を目的とするイニシアチブを歓迎した。(6月26日、ZDM)

【鉱業】

・政府、銅精鉱の輸出関税を一時停止

政府は、鉱業部門の在庫品の輸出促進等を支援するため、一部の銅精鉱に対する輸出関税を一時的に停止した。同停止は、2026年6月1日から

発効し、関税・消費税法の規定に基づき発行された 2026 年法定文書第 43 号により、2026 年 9 月 30 日まで有効となる。(6 月 4 日、DN)

・ 銅、過去最高値に迫る

中東情勢の緊迫化と世界的な需要拡大への期待から、銅価格は 1 トンあたり 14,000 ドルの閾値に近づき、アルミニウムは 4 年以上ぶりの高値に上昇し、商品市場価格を押し上げた。

(6 月 5 日、DN)

・ 鉱物規制委員会、ライセンス委員会を設置

鉱物規制委員会 (MRC) は、同委員会の発足に続き、ライセンス委員会を正式に設置した。国内の鉱業権及び非鉱業権の管理、規制、監督を強化するための重要な一歩となる。(6 月 5 日、ZDM)

・ MRC、コッパーベルト州と北西部州での操業監視を強化

鉱物規制委員会 (MRC) は、コッパーベルト州と北西部州での鉱業操業に対する監視を強化し、今年 46 社で検査を実施した。近年の事故件数の増加を受け、安全な鉱業慣行を促進することを目的としている。(6 月 21 日、ZDM)

・ 銅輸出収入 22%増

出荷量増加と国際価格の上昇に支えられ、ザンビアの精錬銅からの輸出収入は、2026 年 4 月の 161 億 ZMW から 5 月は 21.6%の 196 億 ZMW へと増加した。(6 月 29 日、DN&ZDM)

・ ZEMA、ムンタンガ・ウランプロジェクトを承認

オーストラリアを拠点とする鉱物資源企業アトミック・イーグル・リミテッド社は、カリバ湖近くのムンタンガ・ウランプロジェクトについて、ザンビア環境管理庁 (ZEMA) から環境社会影響評価の承認を受け、副大統領府再定住部門から再定住行動計画につき「異議なし」の承認を得た。

(6 月 29 日、ToZ)

【インフラ】

・ ロビト回廊、ザンビア工業化の鍵

経済学者は、ロビト回廊は、貿易、工業化、付加価値を通じてザンビアの経済変革を加速させる戦略的な機会であり、中小企業が成長を牽引する上で中心的な役割を果たすことが期待される旨述べ、また、同回廊の最大の可能性は、地元の中小企業を農業、鉱業、製造業、物流、デジタルサービスといった主要なバリューチェーンに統合することにあると述べた。(6 月 22 日、DN)

・ ルサカーンドラ二重車線道路工事、78%完了

道路開発庁 (RDA) は、ルサカーンドラ間の二重車線道路は 78%完成し、予定より早く工事が進んでいる旨述べた。2024 年 5 月に開始された同工事は、契約上の完了日である 2027 年を大幅に前倒しして、今年中に完了する見込み。(6 月 22 日、ZDM)

・ 17 億 ZMW のムタンダームウィニルンガ道路契約締結

ザンビア政府とアラブ建設グループとの間の覚書に基づき、北西部州の

ムタンダからムウィニルンガまでの 214km の道路改修が 17 億 ZMW で開始される予定。(6 月 23 日、ToZ&ZDM)

・政府、新しいチルンド・ワンストップ国境検問所を建設へ

政府は、官民連携 (PPP) イニシアチブの下、チルンド国境に新しいワンストップ国境検問所を建設する計画。同計画は、地域及び国際貿易の強化、国境効率の向上、ザンビアと貿易相手国にとっての経済機会の創出を目的としている。(6 月 30 日、ToZ)

【対外関係】

・チェコ共和国、ザンビアの気候変動対策アジェンダを支援

チェコ共和国は、グリーン成長と持続可能性の促進を目的とした革新的な環境、農業、女性主導のエンパワーメントプログラムを通じて、ザンビアの気候変動対策アジェンダを支援するコミットメントを再確認した。(6 月 7 日、ToZ)

・米国、軍に 585 万ドルの訓練施設を供与

ザンビアと米国政府の間で、575 万ドル相当の新たに建設された軍事訓練施設の引渡式が行われた。60 年にわたる二国間パートナーシップにおける新たな節目となる。(6 月 16 日、ZDM&ToZ)

・ 500MW 太陽光発電プロジェクト進行中

韓国の KS エコソリューションズ・ホールディングス・リミテッド社は、ザンビアの増大するエネルギー需要

を満たすため、500MW の太陽光発電プロジェクトを実施予定。(6 月 17 日、ZDM&DN)

・ザンビア・中国間貿易、77%急増

ザンビア中国間の貿易は、今年第 1 四半期に 77%増の 25.8 億ドルに急増し、前例のないペースで強化されている。(6 月 19 日、ZDM)

・ 4 億 9100 万ドルのコンパクトプログラムが再調整

ザンビアと米国は、ミレニアム・チャレンジ・コーポレーションを通じて、4 億 9100 万ドルのコンパクトプログラムを再調整するための修正案に署名。この再調整により、ロビト回廊におけるザンビアの農業及び重要鉱物経済を支援する。財務・国家計画省は声明で、同プログラムは地域接続性を強化する共通のコミットメントを再確認すると述べた。(6 月 19 日、ZDM&ToZ)

・インド、ザンビアの宝石に注目

インドの宝石・宝飾品輸出促進評議会 (GJEPC) は、ザンビアとの貿易関係強化に向けた取組を強化中。加工、製造、輸出の増加を通じて、ザンビアの豊富な宝石資源からより大きな価値を引き出すよう関係者に呼びかけている。(6 月 25 日、DN&ZDM)

【日本関連】

・ JICA、北西州カルンビラで農業サービス提供強化のためバイク 10 台を供与

国際協力機構 (JICA) は、農業普及サービスを強化し、農業活動を支援

することを目的とした HOPE II プログラムにおいて、北西州カルンビラ地域の農業省に 45 万 ZMW 相当のオートバイ 10 台を供与した。(6 月 12 日、ToZ)

・日本財団、ホーン大学に書籍寄贈

日本政府は、日本財団の読書プロジェクトの一環として、ザンビアのエブリン・ホーン応用芸術科学大学に書籍を寄贈した。三上大使は、文学を通じて日本への理解を促進したい旨述べた。(6 月 13 日、ToZ)

・マユクワユクワ道路プロジェクト

建設開始

政府は、マユクワユクワとメヘバ地域で、38 km の道路と 2 つの橋（ルワンパ川に架かる 120 m の歩道橋を含む）の供用を開始した。同プロジェクトは、副大統領府再定住部門を通じて、国連開発計画（UNDP）と提携し、JICA の財政支援を受けて実施されている。事業費は 531 万ドル。2025 年から 2027 年まで実施される。(6 月 17 日、ZDM)

(了)